

平成23年度 水道決算報告

「安全でおいしい水を
安定供給するために」

平成23年度では、水を安定供給するため、老朽管の耐震管への布設替えや真美ヶ丘配水場のポンプ修理工事などを実施しました。
今後、事務処理の合理化と施設の耐震化を推進し、清浄な飲料水の安定供給に努めてまいります。



収益的収入 8億144万円

水道料金収入を使用水量で割った1㎡あたりの平均料金 210円78銭

| | |
|--------|-----------|
| 水道料金収入 | 7億4,311万円 |
| その他の収入 | 5,833万円 |

純利益 4,644万円

※消費税は含んでいません。

収益的支出 7億5,500万円

水をつくるのに要する費用1㎡あたりの原価 213円22銭

| | | |
|----------|-----------|----------------------|
| 人件費 | 9,044万円 | |
| 動力費 | 2,292万円 | 浄水・配水装置などの運転に必要な電気料金 |
| 県水受水費 | 3億9,948万円 | 県営水道受水費用 |
| 減価償却費 | 1億5,804万円 | 建物や配水管などの固定資産の償却費用 |
| その他維持管理費 | 8,412万円 | |

資本的収入 1億6,500万円

| | | |
|-------|-----------|---------------|
| 工事負担金 | 4,288万円 | 給水装置の新設に係る負担金 |
| 貸付金 | 1億2,212万円 | 長期貸付金償還金 |

資本的支出 8,957万円

| | | |
|--------|---------|----------------------|
| 建設改良費 | 8,247万円 | 配水管の新設や老朽管などの布設替工事費用 |
| 企業債償還金 | 710万円 | |

水道水は、10月1日から

県営水道100%になりました

水質が大幅に向上します

広陵町の上水道は、地下水をくみ上げ、浄水場で処理した自己水を県営水道と混合して各家庭に給水してきました。しかし、年々地下水の水質の悪化、水量の低下、さらに施設の老朽化も進んでいることから、対策をどのようにすべきかについて水道利用者による「水道事業懇談会」を設置し、ご意見をお伺いしたところ、新たな投資をせず、水質の改善ができる県営水道100%受水を実現させるとの答申をいただきました。
これを受け、平成24年度予算は、「安心で安全な水を供給するため」平成24年10月から、県水100%による供給とすることにし、議会とも協議を重ね、ご理解をいただきました。
今後も水道事業が「安心・安全」であることが求められ、水質の向上はもとより、災害に備えての施設整備も重要であり、老朽化している管路の耐震化を計画的に実施し、安定した経営を進めてまいりますのでご理解、ご協力賜りますようお願いいたします。

水道は、水質が命です。
次の水質表のとおり、大幅に水質が向上します。



◆上水道の水質表

(単位：mg/ℓ)

| 水質項目 | 今までの水質 (県営水道75%・自己水25%) | これからの水質 (県営水道100%) | 水質基準 |
|----------------|----------------------------|-----------------------|----------|
| ホウ素およびその化合物 | 0.22 | 0.02 | 1.00以下 |
| ナトリウムおよびその化合物 | 24.40 | 7.70 | 200.00以下 |
| カルシウム、マグネシウムなど | 70.00 | 46.00 | 300.00以下 |
| 蒸発残留物 | 165.00 | 80.00 | 500.00以下 |